

玉城知事、城間市長をささえ
だれ一人とり残さない
沖縄らしい
優しい社会へ



玉城アニー知事 城間幹子市長 とぐち修県議

- とぐち修のお約束**
- 地場産業育成、くらしに役立つ公共事業推進。
 - 本島縦貫鉄軌と市内にLRT導入、渋滞軽減。
 - 最低賃金を1000円へ。正規雇用の拡大。
 - 子どもの通院医療費を中学卒業まで無料に。
 - お年寄りの介護の充実。
 - 介護士の待遇改善。
 - 保育士の待遇改善、保育士増で待機児童解消。
 - 新基地建設ストップ。普天間基地閉鎖・撤去。
 - 米軍基地の無条件撤去。

政策の詳細は日本共産党
沖縄県委員会HPで
ご覧ください。 →

【とぐち修略歴】1953年、首里寒川町生まれ。向氏・玉川門中。城西小、首里中、浦添高、沖縄国際大学卒業。那覇市議3期。県議3期。県監査委員。玉城アニー選対副議長。新基地建設反対県民投票連絡会議副議長。
現在：総務企画委員長、米軍基地関係特別委員。オール沖縄会議幹事。党県議団長、県副委員長。



オール沖縄の強化発展に
なくてはならない人
とぐち修さんを



「建白書」実現
リスパケクトと
団結を大切に

あなたのくらし応援団長 とぐち修

日本共産党県議団長、県議会総務企画委員長、党県副委員長

国の悪政もちこみ許さない 道理ある提案で県政動かす

離島振興

水道料金値下げ
光ファイバー整備へ

総務企画委員長として、県内離島の自治体訪問の先頭に。住民と自治体の要望を直接お聞きし、県政に生かす「離島県議」です。

県経済

平和で豊かな沖縄へ
いっかんして提案

① 沖縄振興予算の本土大企業への還流をくいとめ、県内を循環し、地元企業・家計をうるおわせる仕組みに。
② 亜熱帯気候をいかした第一次産業をはじめ、観光、地場産業・地元企業の育成発展、生活密着型公共事業を推進。
③ 米軍基地は「県経済発展の最大の障害要因」。基地なくし経済発展を。
沖縄の未来を開く確かな提案者です。

教育

返済不要の奨学金創設
小人学級を中1までに

市議時代に全クラスへのクーラー設置をいち早く提案。翁長県政のとき那覇市は100%に。
正規教員を全国並みにと奮闘。少人数学級が中1まで広がりました。

とぐち修が県議になって少人数学級は 小2までから中1までに拡大

子ども貧困対策

子ども医療費助成
着実に前進させる

子どもは社会の宝
——この思いで医療費助成を要求し、対象を広げてきました。
とぐち修の提案で知事は任期中に通院医療費無料化を「中学卒業まで」を約束。実現へ後押しするとぐち修を。

とぐち修が県議になって通院	入院
3歳まで ↓ 小学校入学前まで	小学校入学前まで ↓ 中学校卒業まで



- 県民の願いが政治を動かした！**
- 生活困窮者のワンストップ支援センターを設置。
 - 県外土砂持ち込み規制条例を制定。提案者の1人。
 - 沖縄空手会館の建設、「うちなーぐちの日」を制定。
 - ひとり親家庭の高校生バス代無料化。
 - カジノ(ばくち)導入を、翁長県政とともにストップ。
 - モノレールの浦添市まで延長が2019年10月実現。

必要な人に就学援助を
利用率は20.3%から24.8%へ

県が就学援助の利用案内をテレビや新聞の広告でお知らせ。とぐち修が求めたことです。

私の原点 — 「基地のない平和な沖縄」

19歳のとき、米軍の圧政に抗して県民が団結し祖国復帰運動へ立ち上がる姿を目の当たりに。20歳、米軍基地をなくしたいと反戦・平和の日本共産党に入りました。

なんでも相談、解決へ奔走

わったあ〜 とぐち修

お困りごとはお気軽にご相談ください



とぐち修無料生活相談所
火・木・土 午後3時～6時
☎889-8510

我如古盛伸
(真地)



識名園前の県道の拡幅でいっしょ交渉。県は「次年度で拡幅を約束。歩道の簡易舗装も実現し、喜ばれています。

仲村 忠
(末吉町)



松島小正門前のガードレールと交差点のガードポールが実現し、子どもたちも安心です。

石原 昌秀
(大名町)



子どもや住民のため、すぐに動いて、大名児童館前の歩道空間が整備されることになり喜んでます。